

高齢者のアセスメント（課題分析）

東海社会福祉科学研究所

大北 秀雄

課題整理にあたって、問題点の分析がまず問題となってきます。当初の場合は、利用者・家族の聞き取りと、状態確認の中で把握することになりますが、客観的な方法で整理をする必要があります。

更新の場合であれば、状況の変化及び追加資料により、ある程度初回時より明確なものが見えてくるものと思います。

「問題点・課題の整理方法」

- ① 今利用者にとって一番援助・支援が必要なものを見つけることから始まります。
- ② その作業を順次行っていき、まとめることとなります。
- ③ どこが中心になって援助・支援していくかを、明確にすることとなります。
- ④ また、利用者・家族等の考え方を、整理することも必要となります。
- ⑤ 介護保険で援助・支援するものをまとめます。
- ⑥ ケアプランの作成になっていきます。

「課題の着眼点」

- ① 現在の状態から、利用者等の将来を考えた場合
1週間、1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、1年、2年、3年――
後の生活状態を想像することができますか。
- ② その生活状態を想像する場合
ア 今の状態を続けたとき
イ 援助・支援をおこなったとき
- ③ 利用者が一番の願いは何か
- ④ 家族が一番の思いは何か
- ⑤ 利用者が一番困っていることは何か
- ⑥ 援助・支援する側から見た場合の、一番は何か
- ⑦ 一番～何番までが必要なのか判断し、どの範囲までが必要なのかも検討します。
- ⑧ ケアマネジャーとして、無理をしないでどこまで対応できるか判断する。
- ⑨ 検討・判断する場合は、必ず目標内容、期間を明確にしていく必要があります。